

横須賀市における 鳥類 12 種の分布状況

稲森 但 *

Distribution of 12 species of the birds in
Yokosuka City

INAMORI Tadashi*

キーワード: 分布, 横須賀, 鳥類

Key words: Distribution, Yokosuka, birds

横須賀市域での鳥類の分布状況を明らかにするため、横須賀市域において近年増加もしくは減少の傾向がみられるカワセミ、セグロセキレイなど第 1 表の 12 種を選定して、2012 年 1 月～2014 年 12 月の期間に生息調査を行った。

調査方法は、環境庁が「自然環境保全基礎調査」に利用することを目的に作成したメッシュマップ (環境庁, 1997) に示されている 3 次メッシュ (25,000 分の 1 地形図を約 1km×1km に 100 等分した区画) を 1 つの調査区とし、目視による観察および声による確認により、各調査区内での調査対象種における生息の有無を記録した。横須賀市域内の調査区は米軍基地内や浦郷町の工場敷地内の調査不能調査区を除いて、全 123 区であった。調査日・時間は、

あらかじめ設定をせず、調査者の可能な範囲で行った。

種ごとの調査結果

カルガモ *Anus zonorhyncha*

河川、池沼がある多くの調査区で生息を確認した。他種のカモ科鳥類の生息数が少ない、川幅のせまい小河川でも多く生息していたが、東京湾側では、馬堀海岸、走水、鴨居港、久里浜港など他種のカモ科鳥類が冬季に多く生息している場所においては、生息が確認されなかった (第 1 図)。

カワセミ *Alcedo atthis*

河川、池沼がある多くの調査区で生息を確認し、西地区、北下浦地区に多く、北部では田浦港町・吾妻川で生息が確認されたただけであった (第 2 図)。

コゲラ *Dendrocopos kizuki*

半数以上の調査区で生息を確認した。広い緑地とその周辺のほとんどに生息していたが、市街地や、小面積の公園しかない住宅地では生息していなかった (第 3 図)。

アオゲラ *Picus canus*

大楠山から武山、くりはま花の国にかけての山地一帯で連続的に生息を確認したほか、田浦町、観音崎・馬堀町のまとまった樹林地で生息していた (第 4 図)。

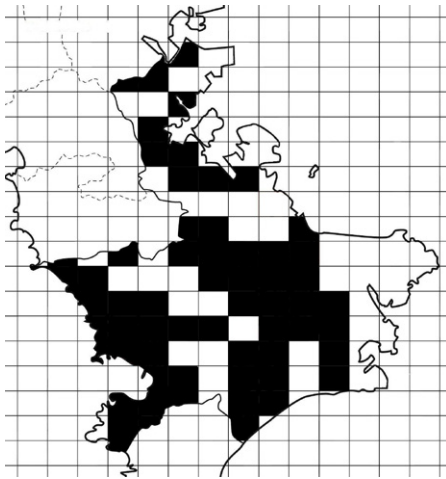
オナガ *Cyanopica cyanus*

深田台、大津町 5 丁目、大矢部 4 丁目、長坂 2 丁

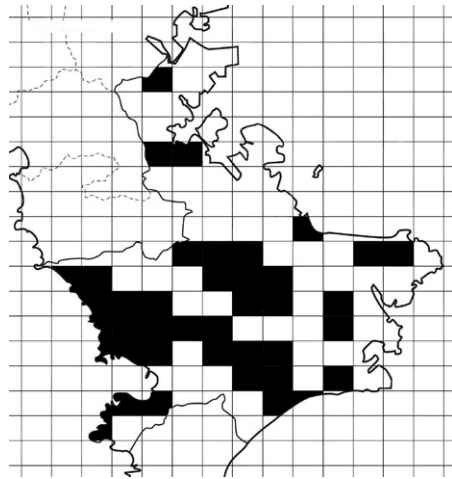
第 1 表 調査種ごとの生息確認調査区数。

和名	学名	生息確認調査区数	生息確認記録回数
カルガモ	<i>Anus zonorhyncha</i>	66	552
カワセミ	<i>Alcedo atthis</i>	43	248
コゲラ	<i>Dendrocopos kizuki</i>	68	392
アオゲラ	<i>Picus canus</i>	40	179
オナガ	<i>Cyanopica cyanus</i>	5	5
ヤマガラ	<i>Poecile varius</i>	33	152
エナガ	<i>Aegithalos caudatus</i>	29	84
イソヒヨドリ	<i>Monticola solitaries</i>	76	393
キセキレイ	<i>Montacilla cinerea</i>	42	103
セグロセキレイ	<i>Montacilla grandis</i>	24	63
ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i>	58	281

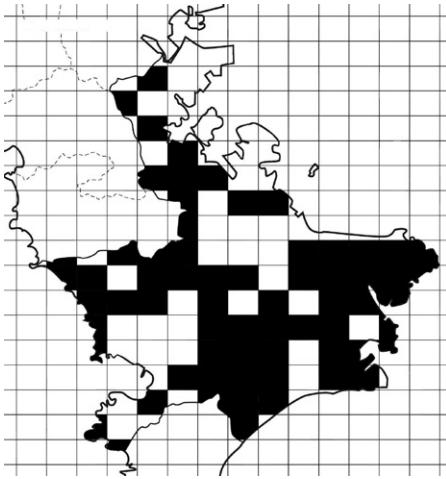
* 横須賀市自然・人文博物館 〒 238-0016 神奈川県横須賀市深田台 95



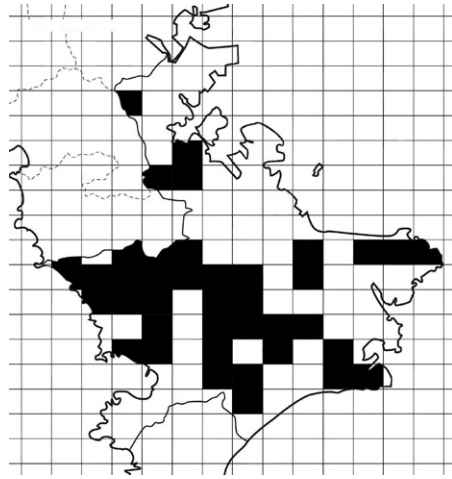
第1図 カルガモの調査結果。黒の塗りつぶしは生息を確認した調査区を示す（以下同）。



第2図 カワセミの調査結果。



第3図 コグラーの調査結果。



第4図 アオグラーの調査結果。

目、太田和2丁目の5カ所で生息を確認したが、いずれも1回だけの記録であった。2001年から2005年にかけては南西部で繁殖記録があり（日本野鳥の会神奈川支部，2007），2006年から2010年にかけては，1，4，5，6，7，8，11月に生息の記録がある（日本野鳥の会神奈川支部，2013）ので，近年，生息数を減らしているものと推測される（第5図）。

ヤマガラ *Poecile varius*

鷹取山，田浦緑地，大楠山，武山，くりはま花の国，観音崎などのまとまった樹林地で生息を確認し，同じ環境に生息しているエナガと比較して，生息確認された調査区が多かった（第6図）。

エナガ *Aegithalos caudatus*

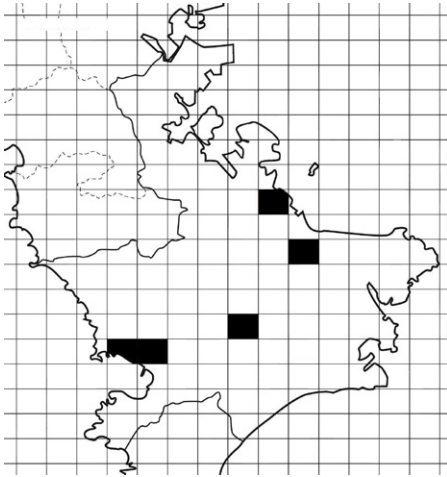
鷹取山，田浦緑地，大楠山，武山，くりはま花の国，観音崎などのまとまった樹林地で生息を確認し，同じ環境に生息しているアオグラー，ヤマガラと比較して，生息確認された調査区が少なかった（第7図）。

イソヒヨドリ *Monticola solitarius*

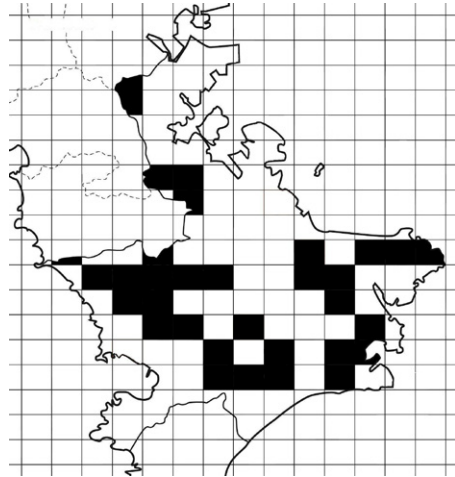
大楠山山頂，武山山頂周辺を除く，多くの調査区で生息を確認した。また，海岸部での生息記録が多いが，衣笠駅周辺，池上，大矢部など海岸から離れた調査区でも，生息記録があった（第8図）。

キセキレイ *Montacilla cinerea*

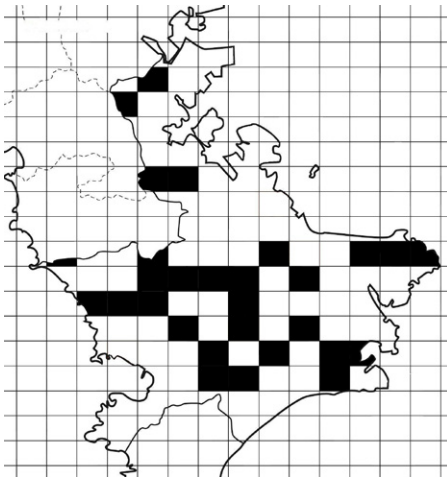
大楠山山麓，北下浦地区では，繁殖期の4月から6月も含め，多く生息を確認した。しかし，他地区では散発的であり，すべて非繁殖期の9月から3月



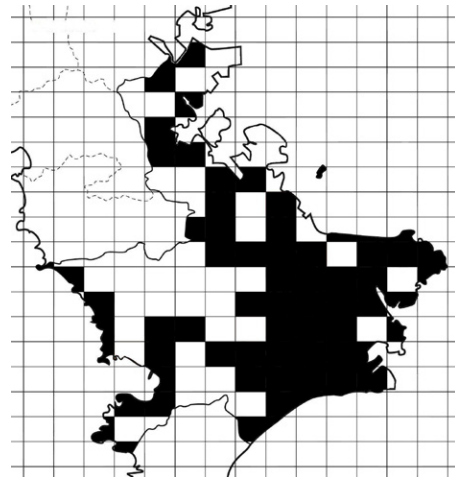
第 5 図 オナガの調査結果.



第 6 図 ヤマガラの調査結果.



第 7 図 エナガの調査結果.



第 8 図 イソヒヨドリの調査結果.

の生息記録であった (第 9 図)。

セグロセキレイ *Montacilla grandis*

芦名・長坂等の西地区、長沢では連続した調査区で生息を確認したが、他地区では散発的な生息記録であった (第 10 図)。

ホオジロ *Emberiza cioides*

西地区、北下浦地区、久里浜地区の多くの調査区で生息を確認したが、追浜から浦賀にかけての東京湾側では、生息を記録した調査区が少なかった (第 11 図)。

ガビチョウ *Garrulax canorus*

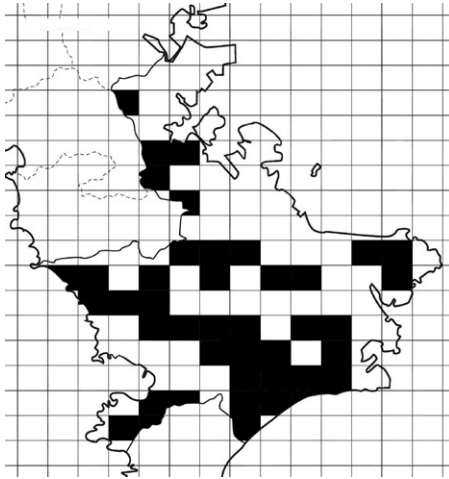
外来種で、鷹取山、田浦緑地、大楠山、武山、くりはま花の国、観音崎などのまとまった樹林地やその周辺で生息を確認した。過去の横須賀市内の生息

記録では、天神島 (林, 1997) があるものの、2001 年～2005 年にかけては生息記録がなく (日本野鳥の会神奈川支部, 2007), 2006 年～2010 年でも、南西部でいくつかの生息記録が見られる程度 (日本野鳥の会神奈川支部, 2013) なので、2012 年以降、急激に分布を広げてきたと考えられる (第 12 図)。

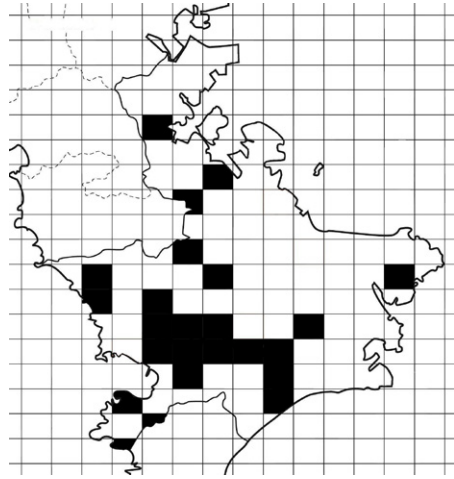
謝 辞

この調査にあたっては、「広報よこすか」2012 年 2 月号での募集に応じていただいた下記の方々の協力を得て行った。記して感謝申し上げる。

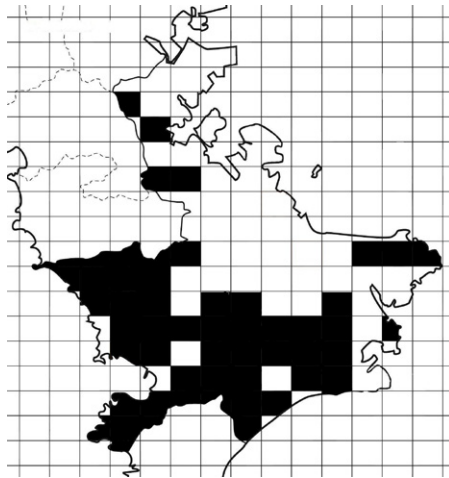
安藤寛、飯島幸夫、古関眞理、小林保夫、斎藤武司、佐々木千香子、椎名杉江、柴田久元、志村文子、鈴



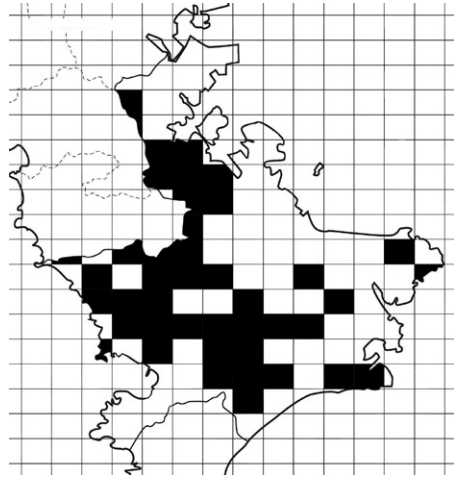
第9図 キセキレイの調査結果.



第10図 セグロセキレイの調査結果.



第11図 ホオジロの調査結果.



第12図 ガビチョウの調査結果.

木茂也, 寺嶋みゆき, 塗々木恵子, 内藤千鶴子, 名尾良英, 永嶋省吾, 永島智子, 沼田俊一, 広瀬信子, 堀川弓, 柳浦邦次, 山川由紀子, 山中貞秋 (50 音順, 敬称略)

引用文献

林 公義 1997. 横須賀市天神島にて. 日本野鳥の会 神奈川支部報はばたき, (298): 12.

環境庁 1997. 都道府県別メッシュマップ 14 神奈川県. 46+8 ページ. 環境庁自然保護局計画課自然環境調査室.

日本野鳥の会神奈川支部 2007. 神奈川の鳥 2001-2005 - 神奈川鳥類目録V - . 196 ページ. 日本野鳥の会神奈川支部.

日本野鳥の会神奈川支部 2013. 神奈川の鳥 2006-2010 - 神奈川鳥類目録VI - . 362 ページ. 日本野鳥の会神奈川支部.